

中世哲学会研究機関誌投稿規程

1 投稿期間

- ・研究機関誌発刊前年度の12月15日から1月15日まで。
- ・なお、本会よりの依頼原稿については上記制限の範囲外とする。

<細則>

- 1) シンポジウム関連原稿と一部の書評原稿が「依頼原稿」に該当する。それらの原稿の締切は、機関誌発刊前年度の3月31日とする。

2 投稿資格

- ・当該年度までの会費をすべて納入済みの中世哲学会正会員に限る。

3 原稿の内容と注意点

- ・中世哲学・中世思想に関する内容であること。
- ・未公開のもの、他の学会誌等に投稿中でないものに限る。
- ・本会および他の学会、研究会等で口頭発表した内容である場合には、その旨を明記すること。
- ・既公開または公開予定の自分の業績と内容が重なる箇所については、その旨を明記すること。

4 原稿の種類

- ・投稿できる原稿の種類は下記の通りである。投稿者は、投稿時に、原稿の種類を指定すること。
- ・投稿者が原稿の種類を指定していない場合、編集委員会がこれを判断する。

4.1 「論文」

- ・一次文献の精確な読解に基づき、論理的首尾一貫性をもって執筆され、研究史の中で新たな貢献として位置づけられるもの。
- ・上記の評価基準のどれか一つについて卓越しており、本機関誌に掲載することが有意義と認められるものを「研究論文」として掲載することがある。この判断は、編集委員会が行う。

4.2 「サーヴェイ論文」

- ・ある分野についての最近の研究状況を網羅的にまとめて紹介し、会員への情報提供に資することを目的とする論文。

4.3 「研究ノート」

- ・主として、比較的短い原典テキストの文献学的分析など、論文の体裁は取らないが、研究上有益と認められるもの。

4.4 「討論」

- ・本機関誌に掲載された論文その他についてのディスカッション。

4.5 「書評・文献紹介」

- ・最近出版された書籍の紹介。

<細則>

- 1) 原則として刊行後5年以内を目安とする。なお、書評・文献紹介に価すると判断されるものについては、刊行後5年以上であっても候補書としてよい。
- 2) 紹介に際する記載必要事項として著者名、著書名、出版地：出版社（和書は出版地を略）、出版年、総ページ数、ISBNを明記する。

4.6 その他

- ・「海外学会報告」など。上記以外のジャンルの原稿を投稿したい場合には、事前に本会事務局に相談されたい。

5 投稿の制限

- ・前年度の本研究機関誌に論文・サーヴェイ論文が掲載された者は論文・サーヴェイ論文を投稿することができない。
- ・同一年度に複数の論文・サーヴェイ論文を投稿することはできない。
- ・(1) 前年度の本研究機関誌に論文・サーヴェイ論文が掲載された者が、他の種類の原稿を投稿すること、および、(2) 同一年度に論文・サーヴェイ論文と他の種類の原稿とを投稿することについては、原則的にこれを制限するものではないが、この場合については、事前に本会事務局に相談されたい。
- ・なお、本会よりの依頼原稿については上記制限の範囲外とする。

6 原稿の書式

- ・原稿はA4サイズ、横書き、脚注形式にする。
- ・提出するデジタル原稿はMicrosoft Wordファイルとする。
- ・手書き原稿、タイプ原稿、ワープロ専用機で作成した原稿等は受けつけない。

7 原稿の分量

- ・ Microsoft Word の文字カウント機能を用いて、注や文献表も含めた原稿全体の文字数を計算する。全角文字 1 字、半角英数字 0.5 字として計算し、スペースや空白行は字数に算入しない。
- ・ 分量の上限は、原稿の種類に応じて下記の通りとする。
- ・ 「論文」「サーヴェイ論文」 16,000 字（原稿とは別に、400 語程度の欧文レジюмеを付すこと。）
- ・ 「研究ノート」 8,000 字
- ・ 「書評・文献紹介」 4,000 字～8,000 字
- ・ 「討論」 4,000 字
- ・ 文字カウント機能による文字数を原稿末尾に記載すること。

8 投稿の方法

- ・ 原稿は、中世哲学会ホームページの投稿フォームページからアップロードし投稿すること。

投稿フォームページ：<http://jsmp.jpn.org/activity/submission/>

- ・ ただしなんらかの理由で困難な場合はメールによる投稿も認める。原稿（欧文要旨を含む）と、下記必要事項を記入したファイルとを添付した電子メールを、論文投稿用アドレスへ送付すること。

論文投稿用アドレス：journal@jsmp.jpn.org

必要事項：

- － 氏名、ふりがな、郵便番号、住所、メールアドレス、電話番号
 - － 原稿の欧文タイトル、投稿者の欧文氏名
 - － 原稿の種類（論文、サーヴェイ論文、研究ノート、討論、書評・文献紹介、その他の別）
 - － 論文内容を表すキーワード（3～5 ヶ）
- ・ 媒体（USB メモリなど）送付での投稿を希望する場合は、事前に事務局まで申し出ること。
 - ・ 原稿は、可能な限り『中世思想研究』原稿執筆のガイドラインに従って執筆すること。

9 審査

9.1 論文・サーヴェイ論文の査読

- ・査読は、編集委員会が査読者を決定して行われる。なお、査読者についての情報は非公開とする。
- ・本規程の定める形式的条件を満たさない場合は査読の対象とならない。
- ・査読結果は、(a) 採用、(b) 書き直し再投稿、(c) 不採用の3種類とする。書き直し再投稿となった投稿者は、定められた期間内に当該原稿を書き直して再投稿することにより、再査読を受けることができる。
- ・査読結果の通知は、4月中旬頃の予定。

9.2 その他の原稿の審査

- ・上記受付期間内に到着した原稿について、編集委員会は審査を行う。
- ・審査結果の通知は、4月中旬頃の予定。

10 ネイティブチェック

- ・論文・サーヴェイ論文の投稿に関して、欧文要旨は、あらかじめネイティブスピーカーのチェックを受けることを必須とする。査読後、掲載が決定したのちにネイティブチェックの証拠となるもの（メール文面なども認める）を提出すること。

11 その他

- ・投稿原稿の言語は原則として日本語とする。
- ・本研究機関誌に投稿された原稿の著作権については、「中世哲学会著作権規程」に従う。
- ・本規程の変更は、編集委員会がこれを行い、理事会に報告する。

【付則】本規程は『中世思想研究』第67号から適用するものとする。

(承認 2016年12月10日理事会)
(改定 2017年6月17日編集委員会)
(改定 2018年4月14日編集委員会)
(承認 2018年6月16日理事会)
(改定 2018年10月18日編集委員会)
(改定 2019年11月10日編集委員会)
(改定 2020年4月11日編集委員会)
(改定 2024年5月31日編集委員会)